

生かせ絹の力

世界遺産2年 ③

見ながら解説員に話し掛けたい。建物の特徴説明

魅力増へ修理も公開

「ここは今しか見られないですよ」。大規模な保存修理工事が行われている富岡製糸場内の西置繭所(国玉)の工事見学施設で今月16日、家族4人で訪れた横浜市の大城朝明さん(76)は約5万枚の瓦が取り外された屋根を間近に

製糸場の保存活用

働きやすい環境や県内就職

女性、若者の活躍推進

学生、経営者、国会議員が討議



1億総活躍社会実現の課題について話し合うパネリスト

パネリストで、来春から都内の企業に就職する県立女子大4年の河内裕美さんは「就職活動では県内企業の情報が入ってこなかった。出産後の職場復帰や年金問題に対し、不安を感じている若者は多く、働きやすさや安定を求めている」

と打ち明けた。

福田達夫衆院議員は都内からの県内就職や移住に関して「所得や教育、文化的な生活水準など、双方の差を踏まえて問題解決に取り組む必要がある」と述べた。経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100

今年1月に公開され、5月後半から解説員が監視も兼ねて観光客に修理の概要や建物の特徴を説明している。大城さんは「製糸場は思ったよりずっと広く、工事現場が見られるのもいい。屋根が直ったらまた見に来たい」と満足げに話した。瓦は全て保管され、調査後、使えるものは再び元に戻す予定だ。

CGで疑似体験

建物を見るだけでは分からない、創業した明治期の製糸場をCG映像で疑似体験してもらったため、4月からスマートフォンを使ったCGガイドツアーが団体客向けに1日2回行われている。21日には東京都内のボランティア団体がCGツアー

解を深めていた。製糸場内にある建物約100棟のうち、内部を公開しているのは1月から随時見学できるようになった東置繭所と練糸所だけだ。病室と工女の機名寮は今春、素通しの窓を通して外から室内を見渡せるようにした。市富岡製糸場保全課



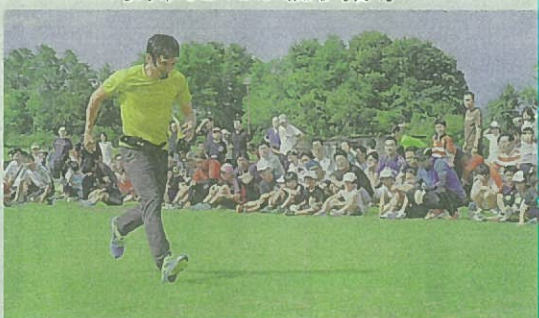
解説員から説明を受け、保存修理中の西置繭所を

選に選出された栄光製作所(富岡市)の勅使河原寛社長は「従業員の能力を最大限に発揮するため、個々の良い点を見極めることが大切」と強調。同協議会の都丸雄太会長は「学生と近い距離で会社の強みや思いを伝えられる場を設けた」とした。



「走りは姿勢で決まる」

高崎 為末大さんが親子指導



スタート時の姿勢について説明する為末さん

運動を通して親子の絆を深めてもらう「父子チャレンジアカデミーin高崎」が26日、高崎市浜川町の浜川競技場で開かれた。元400メートルハードル選手で、五輪に3大会連続出場した為末大さんが講師を務め、市内外の親子約250組500人に速く走るコツを教えた。

県は、男女共同参画推進委員会の新たな委員2人を公募する。本県の男女共参画社会づくりについて広い視点から意見を出し

は姿勢で決まる」とし、膝を真っすぐ伸ばすことが重要だと強調した。スタート時は「転びそうになる」と重心を前に掛けるようにと助言。参加者は姿を意識しながらグラウンを駆け抜けた。同市榎高町の会社員、永徳彦さん(42)は娘の遥ん(8)と参加し、「一瞬体を動かせる良い機会だった。子どもが楽しんでくれたのでうれしい」と愛を見せていた。イベントはNPO法人

へメロカリス 鮮やか20万株 安中・アイリスの丘 赤や白、黄色など色鮮やかなへメロカリスが安中・中後園の観光農園「アイリスの丘」(宮下忠代表)

